

報道関係者各位



2024.09
福田美術館

福田美術館 2025年度企画展スケジュールのお知らせ

福田美術館は、以下の通り2025年度の企画展開催予定をお知らせいたします。2025年は2月から4月にかけて、東山魁夷と風景画をテーマにした「東山魁夷と風景画の旅：日本から世界へ」を、4月から7月にかけて嵯峨嵐山文華館との共催で3年半ぶりの櫻谷展「京都の巨匠・木島櫻谷 画三昧の生涯」を開催いたします。また7月から10月にかけてはかつて万博で実力を競った日本画家たちを紹介する「万博・日本画繚乱～ニッポンの美、咲きそろろう」、10月から翌年1月にかけては上村松園をフィーチャーした美人画展「上村松園を愛でる 美人画を楽しむ（仮）」を、2026年1月から4月にかけては京都をモチーフに描かれた作品や京都に縁のある画家を集めた「京都ゆかりの物語(仮)」の開催を予定しています。開館5周年を迎え、ますます充実するコレクションと福田美術館ならではのキュレーションにご注目ください。

福田美術館 企画展スケジュール

2025/2/1（土）～4/13（日）	東山魁夷と風景画の旅：日本から世界へ
4/26（土）～7/6（日）	京都の巨匠・木島櫻谷 画三昧の生涯
7/19（土）～9/29（月）	万博・日本画繚乱～ニッポンの美、咲きそろろう
10/11（土）～2026/1/18（日）	上村松園を愛でる 美人画を楽しむ（仮）
1/31（土）～4/12（日）	京都ゆかりの物語(仮)

プレスリリースに関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中真衣、樋口
TEL：03-6264-2045
Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

2025/2/1（土）～4/13（日）

東山魁夷と風景画の旅：日本から世界へ



左から 東山魁夷《夕涼》《青きドナウ》福田美術館蔵

風景画の名手として国民的に知られる東山魁夷（1908-1999）は、日本各地を旅して自然が織りなす風景を描き続けました。さらに魁夷は国外へ関心を示し、ドイツ留学を経て、欧州や中国など、彼の目を通した世界の風景も絵にしました。本展では、福田美術館で初公開となる、京都の修学院離宮を描いた《夕涼》をはじめ、オーストリア・メルクの修道院からドナウ川を見下ろす《青きドナウ》など、当館が所蔵する魁夷の作品、約30点を通期展示で公開。また、日本画の革新を目的に渡米した横山大観や菱田春草らの作品も展示し、さらに西洋の近代風景画の基礎を築いたカミーユ・コローによる《孤独、ヴィジャンの思い出（リムーザン）》や、印象派を代表するクロード・モネの代表作《プールヴィルの崖、朝》など、近代の日本画家が憧憬した海外の画家の作品もご紹介します。

4/26（土）～7/6（日）

京都の巨匠・木島櫻谷 画三昧の生涯



木島櫻谷《細雨・落葉》福田美術館蔵

木島櫻谷は2021年開催の「木島櫻谷 究めて魅せた『おうこくさん』」展から約3年半の時を経て、満を持しての回顧展となります。櫻谷の到達点を示す代表作はもちろん、今回約110年ぶりの公開となる櫻谷と岸竹堂の合作《嵐山清流》など新収蔵品の数々をご紹介する予定です。嵯峨嵐山文華館との二館共催で、櫻谷芸術の源流を追求します。

※展示予定作品は変更する場合がございます

7/19 (土) ~9/29 (月)

万博・日本画繚乱 ～ニッポンの美、咲きそろろう

かつて日本の画家たちは、己の芸術をもって万博という国際的な場に挑んできました。

1900年のパリ万国博覧会で金メダルに輝いた大橋翠石をはじめ、横山大観、竹内栖鳳や上村松園ら、錚々たる画家たちの逸品を展示し、関西での万博開催を嵯峨嵐山文華館と二館共催で盛り上げます。

大橋翠石《猛虎之図》福田美術館蔵



10/11 (土) ~2026/1/18 (日)

上村松園を愛でる 美人画を楽しむ (仮)

2025年が上村松園の生誕150周年にあたることを記念して、福田美術館が誇る上村松園の優品を、同時代の画家たちの美人画と共にたっぷりご覧いただきます。松園が特にこだわった眉やうなじなど、日本画の中で女性を輝かせるための工夫にも注目です。

上村松園《姉妹之図》福田美術館蔵



1/31 (土) ~4/12 (日)

京都ゆかりの物語(仮)

国内にとどまらず、世界中の人々を惹き付けてやまない古都・京都。

福田美術館ではそんな京都に魅せられた画家の作品を多く所蔵しています。寺社仏閣や古い町並み、食べ物に至るまで、画家の目を通して表現された京都の魅力を知れば、もっと京都が好きになることでしょう。



伊藤小坡《壬生狂言》福田美術館蔵



池田遙邨《嵐山薫風》福田美術館蔵

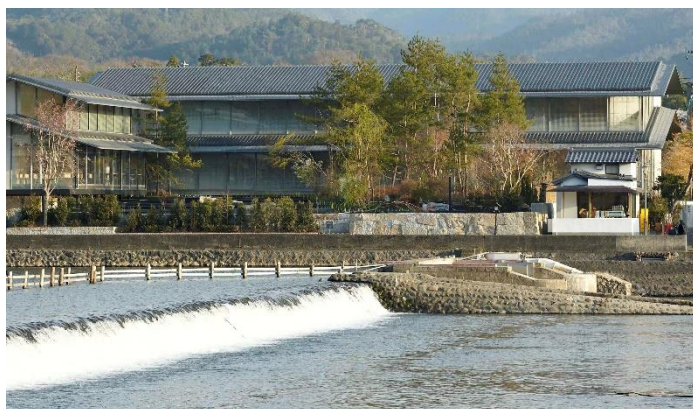
※展示予定作品は変更する場合がございます

福田美術館について

美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

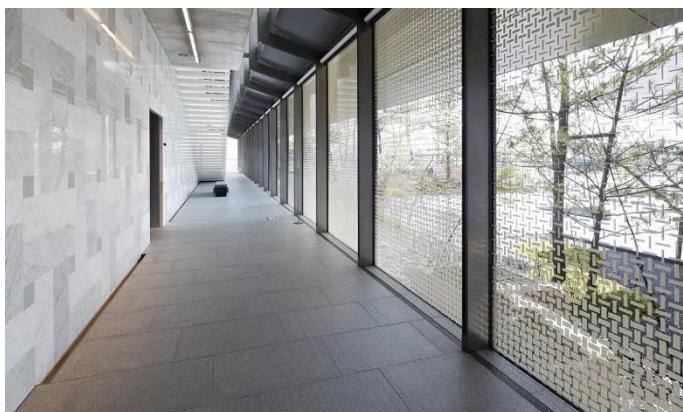
京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきました。オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという想いから、2019年10月、美術館の設立に至りました。今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了してきました。この美しい自然と共に日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。

福田美術館は2024年10月で開館5周年を迎えます。今後も「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へとつなぐ美術館を目指します。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指しました。また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わうことができます。



福田美術館概要

- 施設名称 福田美術館
- 開館時間 10:00～17:00（最終入館 16:30）
- 休 館 展示替え期間、設備点検日、年末年始
- アクセス
〒616-8385 京都府京都市右京区
嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」
下車徒歩12分／
阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩11分／
嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩4分
- 料 金
〈福田美術館〉
一般・大学生：1,500円
（高校生900円 小中学生500円 障がい者・付き添い各900円）

〈嵯峨嵐山文華館との二館共通券〉
一般・大学生 ¥2,300/高校生 ¥1,300/小中学生 ¥750
障がい者と介添人1名まで 各¥1,300



プレスリリースに関するお問合せ

福田美術館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中真衣、樋口
TEL：03-6264-2045
Email：fukudamuseum-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からのお問合せ

TEL：075-863-0606（代表） Email：info@fukuda-art-museum.jp